

## 我が国における今後の世界文化遺産の在り方に係る検討について

令和 2 年 1 1 月 文化庁文化資源活用課

### 1. 論点

- 世界遺産一覧表に記載されることにどのような意義があるか（下記観点を含む）
  - 遺産の将来世代への継承（登録後の取組に向けた第一歩）
  - 我が国の文化財保護全体への寄与と我が国の文化財保護の仕組みの発信機会拡大
  - 新たな価値の発見
  - 世界遺産を活かしたまちづくり
  
- 登録された世界文化遺産の持続可能な保存・活用の在り方（下記観点を含む）
  - 登録された世界文化遺産の管理体制
    - ・統括的な担当者の重要性
    - ・能力育成
    - ・成功事例の共有
    - ・基礎知識の周知
  - 開発事業等への対応
    - ・多層的な保護の実現
    - ・緩衝地帯の積極的な位置づけ
  - 災害等からの復旧や防災対策
  - 地域コミュニティの重要性
    - ・世界遺産についての教育による理解増進
    - ・ボランティアの積極的な参加による保存・活用の充実
  - 来訪者管理（コロナの観点も含む）
    - ・多言語による解説などの適切なインタープリテーションや収容人数等の観点を含む中長期的な戦略
    - ・SNS 等を活用した情報発信
  - 地域における世界文化遺産の貢献
    - ・各地域住民等の誇りや地域愛の醸成、持続的な経済的効果の獲得
  
- 世界遺産一覧表の充実に向けた取組はどうあるべきか（下記観点を含む）
  - 世界遺産一覧表の多様性への貢献や持続可能な保存・活用に鑑みた推薦すべき資産の考え方
    - ・学術的価値の重視
    - ・世界の動きを先取りした多様な資産の発見
    - ・国際的な観点からの価値の証明
    - ・テーマ、分野の適性
  - 国内の審査の在り方
  - 推薦書提出後の諮問機関による審査等への対応の在り方

## 2. 持続可能な保存・活用を実現するための方策（イメージ）

世界文化遺産の適切かつ持続的な保存・活用を実現するための方策が重要。

- 既登録資産の保存・活用の充実  
（具体的な対応例）
  - 保存・活用の「在り方」の提示、周知
  - 専門家及び文化庁による定期的な保全状況の確認
  - 上記機会における一般向けシンポジウム等の開催
  - 文化庁ホームページ等を通じた成功事例の発信
  
- 持続可能な保存・活用の観点から熟度の高い案件の推薦  
（具体的な熟度を判定する基準の追加例）
  - 遺産管理の体制（統括的な担当者の有無や各構成資産を含めた担当者の質・数、他部局や外部機関との調全体制等）
  - 遺産影響評価（Heritage Impact Assessment: HIA）の適切な実施
  - 地域コミュニティの参画と遺産から生じる多様な利益の活用（左記について包括的保存管理計画等に盛り込まれているか等）
  - 世界遺産一覧表への記載後も含めた、上記事項への対応に係る関係自治体の意向

## 3. スケジュール（案）

別紙1のとおり

文化審議会世界遺産部会における世界文化遺産の在り方に係る検討スケジュール(案)

令和2年11月  
文化庁文化資源活用課

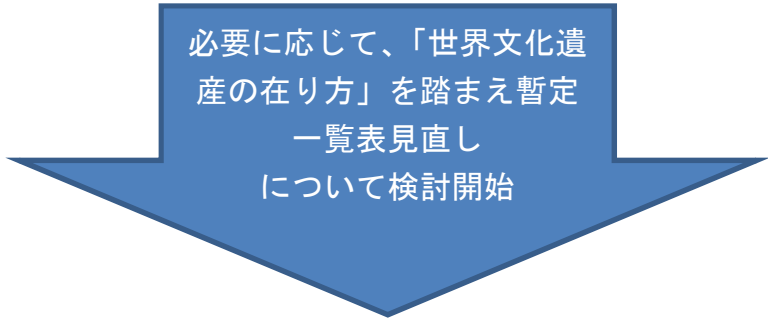
令和2年10月12日 ・世界文化遺産の現状について  
・世界文化遺産の在り方に係る論点案

令和2年11月 5日 ・世界文化遺産の在り方について文部科学大臣より諮問



ヒアリング及び3回程度議論

令和3年 3月頃 ・「世界文化遺産の在り方」取りまとめ



必要に応じて、「世界文化遺産の在り方」を踏まえ暫定一覧表見直しについて検討開始



## 関係者へのヒアリングについて（案）

令和2年11月  
文化庁文化資源活用課

## 1. 日本イコモス

## 【ヒアリング項目】

- 世界遺産登録の意義
- 世界遺産の保存・活用に係る課題と今後の在り方
- 世界遺産一覧表の充実に向けた取組の今後の在り方

## 2. 自治体関係者

## (1) 島根県大田市（「石見銀山遺跡とその文化的景観」）

主に、コミュニティの参画の観点から

## (2) 奈良県（「古都奈良の文化遺産」）

主に、都市部の世界遺産の観点から

## (3) 姫路市（「姫路城」）

主に、初期に登録された資産の観点から

## 【ヒアリング項目】

- 世界遺産登録前後から現在までの地域の変遷（課題等）
- 世界遺産登録の影響
- その後の取組と効果
- 今後の課題
- 「持続可能な保存・活用を実現するための方策（イメージ）」を実施するに当たっての効果と課題



## 世界文化遺産部会委員

(令和2年4月9日現在)

## (正委員)

- ◎佐藤 信 東京大学名誉教授  
○松田 陽 東京大学准教授

## (臨時委員)

- 伊藤 毅 青山学院大学総合文化政策学部教授  
池邊 このみ 千葉大学大学院園芸学研究科教授  
岩本 渉 アジア太平洋無形文化遺産研究センター所長  
大森 洋子 久留米工業大学工学部教授  
黒田 乃生 筑波大学芸術系教授  
小浦 久子 神戸芸術工科大学大学院教授  
佐々木 葉 早稲田大学教授  
鈴木 淳 東京大学大学院教授  
舘野 和己 大阪府立近つ飛鳥博物館長,  
奈良女子大学大和・紀伊半島学研究所 古代学・聖地学研究センター特任教授  
藤原 惠洋 九州大学大学院教授  
二神 葉子 東京文化財研究所文化財情報研究室長  
本中 眞 前内閣官房内閣参事官  
山田 幸正 東京都立大学プレミアムカレッジ 特任教授

(◎ : 部会長、○ : 部会長代理)

